

調布駅前広場の検討について

◎ 現状

- ①中心市街地街づくり総合計画策定段階から多様な市民参加を実践しながら、検討を実施
- ②交通管理者（警視庁）や交通事業者（バス・タクシー）との協議は、複数年の調整を経て完了済
- ③すでに、京王線地下化後7年余経過し、連立事業の事業効果発揮のためにも、早期の完成が不可欠
- ④社会情勢の変化
 - * タクシー配車アプリの利活用（平成29年頃から急激に利用者件数が増加）
 - * 自転車の車道通行化（平成27年6月道路交通法改正）
 - * 京王線地下化の効果ともなる駅乗降客数の増加（平成30年 129,968人/日 平成29年比較3.5%増）
- ⑤市民ニーズの変化・行政課題への対応
 - * 駅前周辺の街の変化により、駅前広場の歩行者動線・自転車移動の多様化
 - * 駅前広場を活用した多様なイベント開催を通じた、環境空間(ひろば機能)の充実
 - * (仮称)調布駅周辺大型公共施設(総合福祉センター・グリーンホール)の今後の整備検討
- ⑥広範な市民の声を伺うなかで、環境空間（ひろば機能）の確保や、南側ロータリーの西側歩行者動線改善などの意見を再確認

◎ 方針

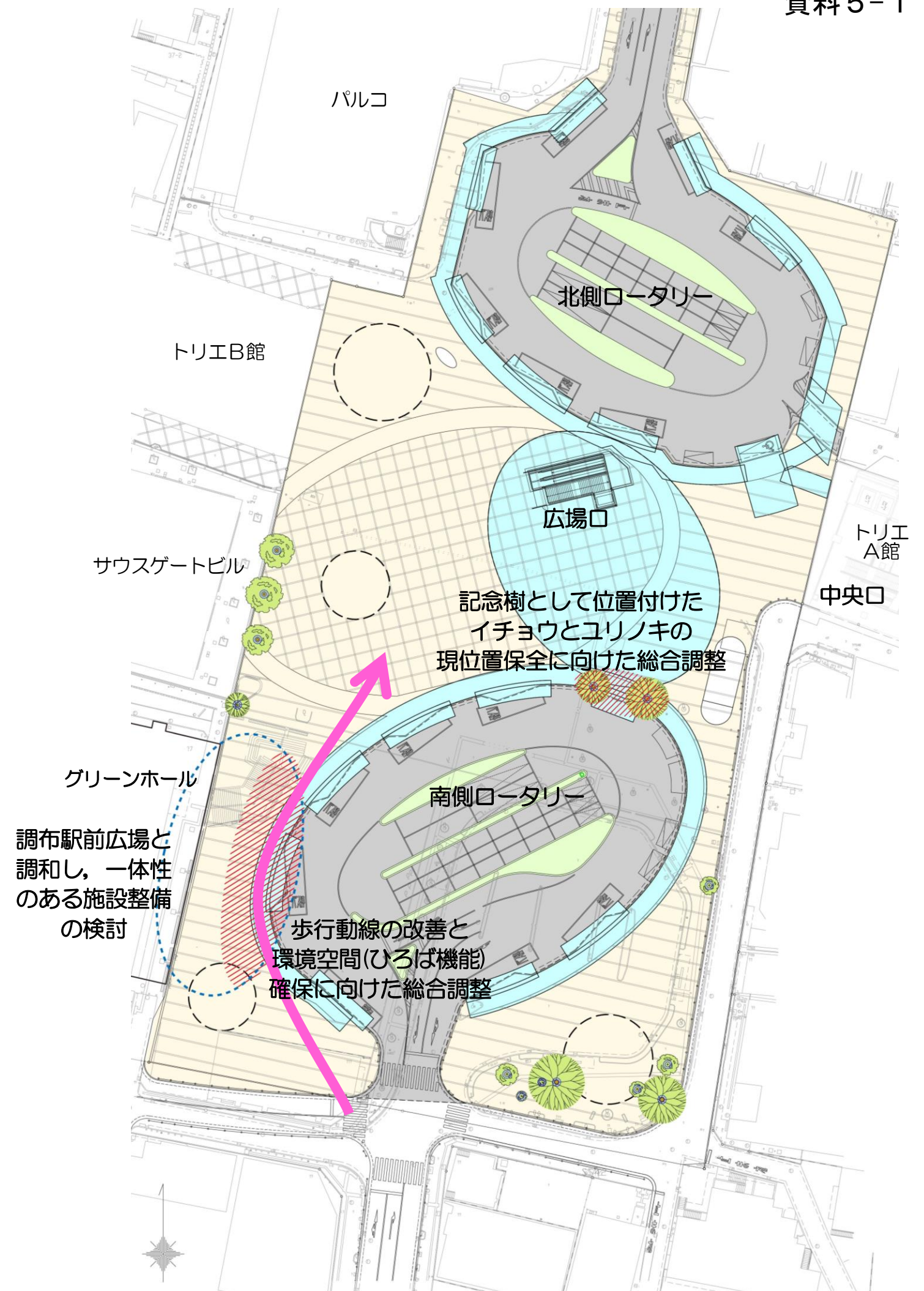
**社会情勢の変化や広範な市民の声（ひろば検討会、アンケート調査ほか）を踏まえ、
『令和7年度完成を前提に、南側ロータリーの一部の修正を総合調整』**

◎ 一部の修正の検討前提

- ①連立事業後の駅前広場の早期完成（令和7年度）
- ②交通管理者協議を終了している中での総合調整
- ③上記理由で、南端の交差点形状は変更しない
- ④南側ロータリー形状の再確認・総合調整
 - * 南側ロータリー北端のイチョウとユリノキの現位置保全
 - * 南側ロータリー西側の歩行動線の改善と環境空間（ひろば機能）確保
- ⑤現状のバス、タクシー乗降場等の確保
（バス乗降場：6、タクシー乗降場：2、バス待機場：3、タクシー待機場：14）
- ⑥南側ロータリーの一部の修正に向けた総合調整を、交通管理者等の関係機関との限られた条件・期間での協議を市の責任で実施

◎ その他機能についての今後の取組

- ①南側ロータリーの検討状況を勘案しつつ、下記のその他の機能について、来年度以降、市民参加を实践しながら検討していく。なお、機能ごとに検討準備が整い次第、検討を行う。
また、イベント空間の利活用、イベント空間の設え、設備などについては、商工会、周辺商店会、周辺商業事業者等との意見交換会を実施。樹木配置については樹木組合の方々をはじめ、意見交換を実施。
 - * 環境空間（ひろば機能）の設え（大屋根・多目的広場・噴水・芝生など）
 - * 木陰の確保・イベント利用などと調和する樹木配置
 - * 駅前広場（樹木を含む）の管理・運営(市民との協働)



調布駅前広場の整備に向けた検討の流れ

資料 5-2

